

# 地元由来の要素を織り込んだ 「わたしたちの商店街」

シャポー小岩



東京方面（西側）エントランス。柱などに甲和焼の赤系の色を配した。区道拡幅のためセットバックさせている



壁面に地元アーティストの作品を掲げた



1階の「ぶらぶらお買い物を楽しむ遊歩道」。照明は、照度を抑えつつ明るめの調色とし、落ち着きと安心感を両立。床に灯りの濃淡ができるようにしてニュアンスを演出した



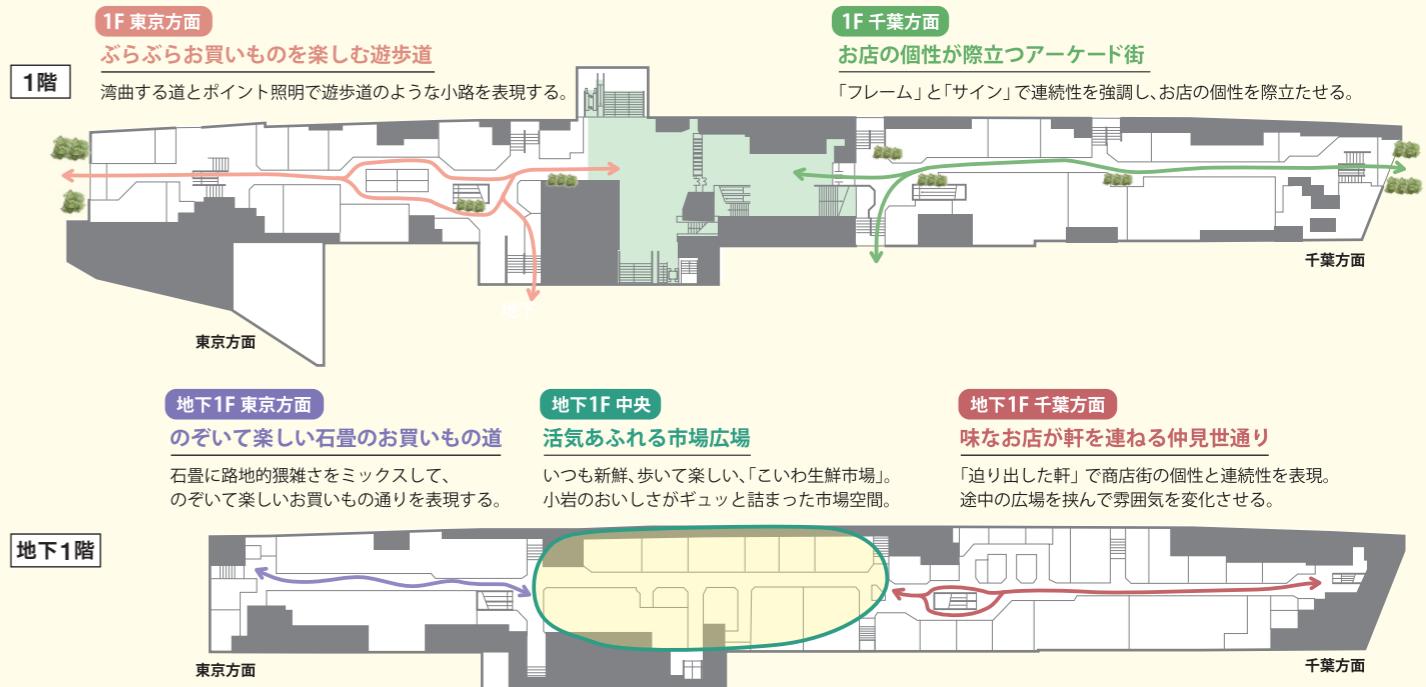
## Before

高架橋の柱に渡した梁によって天井が低くなり、圧迫感があった



## After

天井を上げ、梁にミラーを貼ることで存在感をなくして奥行きを出した



## 「小岩らしさ」をデザインに

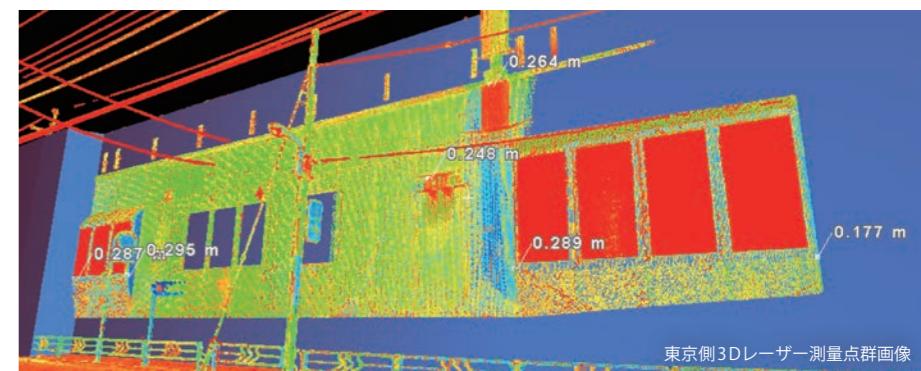
JR総武線小岩駅に直結したショッピングセンター（SC）、シャポー小岩。ジェイアール東日本都市開発が展開する6ヵ所のシャポーの一つで、1972年の総武線高架化とともに誕生した。

開業50周年を間近に控えた2019年頃、全面的なリニューアルの計画が浮上。回遊性・買い回り性の良い環境と商空間の演出、動線計画の見直し、老朽化した設備の更新などを提案した。ポイントとなったのは、地元である「小岩らしさ」の表現だ。デザインの基準として、小岩に由来するものを織り込んだ。ストアコンセプトは「わたしたちの商店街」。1階と地下1階の二層にわたる東西300mの細長い平面に、それぞれ個性を持った四つの「小路」と、生鮮市場に見立てた一つの「広場」を配置し、多様な商店が連なる商店街のにぎわいをつくり出した。

また、地名の由来とされる「甲和里」の名を冠した焼物「甲和焼」の赤系・黒系の色を玄関口の色として採用。アートワークには地元の作家を起用し、「江戸川エキサイティング花火」などをテーマとした壁画を掲出した。

## 高架下の制約を個性に昇華

既存の施設は、鉄道高架橋の下という特性上、一般的な建築物とは異なる仕様が見



シャポー小岩

所在地	東京都江戸川区
用途	商業施設
発注者	ジェイアール東日本都市開発
施工	鉄建建設
敷地面積	9,549.01m <sup>2</sup>
建築面積	8,860.68m <sup>2</sup>
延べ面積	16,124.82m <sup>2</sup>
改修面積	16,124.82m <sup>2</sup>
階数	地上3階、地下1階、高架下2層
構造	S造一部RC造
開業	2024年3月
〈担当〉	
統括	伊東義博
建築担当	岡田果奈
構造	本山次郎
設備	松山光利、土岐俊
電気	池田庄弘、小山和歌子
工事監理	伊東義博、岡田果奈、小山和歌子、土岐俊、本山次郎
内装デザイン	ジアス・ネットワークス事業共同組合

## PROJECTS シャポー小岩

当社HPでも  
同物件のご紹介をしております。  
ぜひ、ご覧ください。

